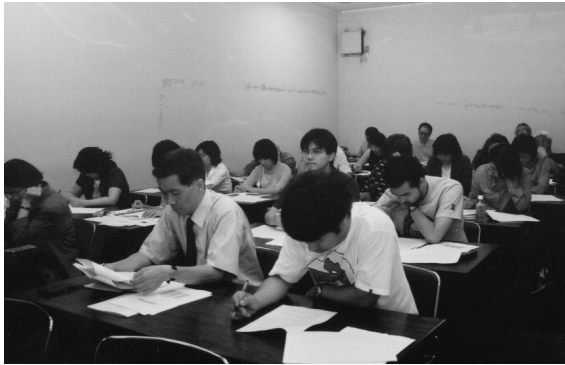


西日本地区テキスタイルデザインスクールの開講



テキスタイルデザインスクールが6月8日(土)を皮切りにスタートしました。

第一回目は、私的にもとても興味深いテーマ「知っていますか? グローバルビジネスの伸展」というお題で、テキスタイルの全体像とファッション関連、インテリア関連の3講座に区切ってお話がありました。世界を知るということは、数字にも強くならないといけないのだな・・・と痛感させられる数多くのデータ書類と格闘し、今後の日本の現状や在り方はもちろんですが、デザイナーとしての存在価値についても考えさせられました。



知っている事もあり、知らない事もあり、と興味深く聞くことが出来た講義でしたが、各分野で活躍されている講師陣の方によって更に再認識させられる事も多々あり、明日からの仕事がより充実したものになる予感を感じさせ、意気揚揚と教室を後にしました。

スクールに参加している方々の分野の違いや、経験年数には共通性が無いので難しいのですが、時間に比べて内容が幅広く多岐に渡っていましたので奥に込み入ったお話が聞けなかったのが残念でした。ですが、今後2003年の3月まで9スクールが残っていますし、順を追いながら最終スクールの「テキスタイルデザインの『明日』を考える」まで学べば、又一步プロとしての新たな知識が得られることでしょう。生きた知識を吸収できる良い機会ですので、学ぶ姿勢を大切にしたいと考えました。



スクールの後に行われましたパーティは、雰囲気のあるイタリアンレストランでの立食スタイルの中、親睦を深めました。スタート時は食事に専念する人や、壁際に咲く高値の華になっている方もいましたが、中盤も過ぎる頃になると皆さん自由に飛び回る蝶となり、あちらこちらのグループで今後のテキスタイル業界における課題や問題、夢や悩みを語り合い、会話に楽しい花が咲いた様子でした。学んでカロリーを消費した後ですから、会話もお食事いつも以上に美味しく感じられたのでした。(レポート 仁井佳代子)

